

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公表番号】特表2008-537958(P2008-537958A)

【公表日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2008-039

【出願番号】特願2008-506722(P2008-506722)

【国際特許分類】

C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	16/18	Z N A
C 1 2 N	15/00	A
C 0 7 K	16/46	
C 1 2 N	5/00	B
A 6 1 K	39/395	E
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 K	39/395	Y
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	39/395	C
A 6 1 K	39/395	L
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/04	
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月7日(2009.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

哺乳動物細胞におけるH A S 2、H A、C D 4 4 又はR H A M M のW I S P - 1 誘発又は分泌を阻害するか、又は中和する方法であって、該哺乳動物細胞を有効量のW I S P - 1 ドメイン1ポリペプチドにさらすこととを含み、このとき該W I S P - 1 ドメイン1ポリペプチドが

- 配列番号1のアミノ酸24-117から基本的になるW I S P - 1 ドメイン1ポリペプチド、及び
- 配列番号1のアミノ酸24-117に少なくともおよそ95%の同一性を有するポリペプチドから基本的になるW I S P - 1 ドメイン1ポリペプチド

からなる群から選択されるポリペプチドからなる方法。

【請求項 2】

前記 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドが免疫グロブリンの F c 領域に融合している、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 哺乳動物細胞が癌細胞を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記癌細胞が、膵臓癌細胞、大腸癌又は結腸直腸癌細胞、乳癌細胞、肺癌細胞、又は脳癌細胞を含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記癌細胞が、膵臓腺癌細胞又は大腸腺癌細胞を含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

癌細胞運動性を阻害する方法であって、癌細胞を有効量の W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドにさらすこととを含み、このとき該 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドが

a) 配列番号 1 のアミノ酸 24 - 117 から基本的になる W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチド、及び

b) 配列番号 1 のアミノ酸 24 - 117 に少なくともおよそ 95 % の同一性を有するポリペプチドから基本的になる W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチド

からなる群から選択されるポリペプチドからなる方法。

【請求項 7】

前記 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドが免疫グロブリンの F c 領域に融合している、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記癌細胞が、膵臓癌細胞、大腸癌又は結腸直腸癌細胞、乳癌細胞、肺癌細胞、又は脳癌細胞である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

哺乳動物細胞における H A S 2 、 H A 、 C D 4 4 又は R H A M M の W I S P - 1 誘発又は分泌を阻害するか、又は中和するための医薬であって、 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドを含有してなり、このとき該 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドが

a) 配列番号 1 のアミノ酸 24 - 117 から基本的になる W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチド、及び

b) 配列番号 1 のアミノ酸 24 - 117 に少なくともおよそ 95 % の同一性を有するポリペプチドから基本的になる W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチド

からなる群から選択されるポリペプチドからなる医薬。

【請求項 10】

前記 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドが免疫グロブリンの F c 領域に融合している、請求項 9 に記載の医薬。

【請求項 11】

前記 哺乳動物細胞が癌細胞である、請求項 9 又は 10 に記載の医薬。

【請求項 12】

前記癌細胞が、膵臓癌細胞、大腸癌又は結腸直腸癌細胞、乳癌細胞、肺癌細胞、又は脳癌細胞である、請求項 11 に記載の医薬。

【請求項 13】

癌細胞運動性を阻害するための医薬であって、 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドを含有してなり、このとき該 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドが

a) 配列番号 1 のアミノ酸 24 - 117 から基本的になる W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチド、及び

b) 配列番号 1 のアミノ酸 24 - 117 に少なくともおよそ 95 % の同一性を有するポリペプチドから基本的になる W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチド

からなる群から選択されるポリペプチドからなる医薬。

【請求項 1 4】

前記ポリペプチドが、少なくとも 1 種類の哺乳動物細胞における天然ヒト W I S P - 1 ポリペプチドによる H A S 2 、 H A 、 C D 4 4 又は R H A M M の誘発又は分泌を阻害するか、又は中和する、請求項 1 3 に記載の医薬。

【請求項 1 5】

前記 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドが免疫グロブリンの F c 領域に融合している、請求項 1 3 又は 1 4 に記載の医薬。

【請求項 1 6】

前記癌細胞が、膵臓癌細胞、大腸癌又は結腸直腸癌細胞、乳癌細胞、肺癌細胞、又は脳癌細胞である、請求項 1 3 ないし 1 5 の何れか一に記載の医薬。

【請求項 1 7】

癌を治療するための医薬であって、W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドを含有してなり、このとき該 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドが

a) 配列番号 1 のアミノ酸 2 4 - 1 1 7 から基本的になる W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチド、及び

b) 配列番号 1 のアミノ酸 2 4 - 1 1 7 に少なくともおよそ 9 5 % の同一性を有するポリペプチドから基本的になる W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドからなる群から選択されるポリペプチドからなる医薬。

【請求項 1 8】

前記ポリペプチドが、少なくとも 1 種類の哺乳動物細胞における天然ヒト W I S P - 1 ポリペプチドによる H A S 2 、 H A 、 C D 4 4 又は R H A M M の誘発又は分泌を阻害するか、又は中和する、請求項 1 7 に記載の医薬。

【請求項 1 9】

前記 W I S P - 1 ドメイン 1 ポリペプチドが免疫グロブリンの F c 領域に融合している、請求項 1 7 又は 1 8 に記載の医薬。

【請求項 2 0】

前記癌が、膵臓癌、大腸癌又は結腸直腸癌、乳癌、肺癌、又は脳の癌である、請求項 1 7 ないし 1 9 の何れか一に記載の医薬。

【請求項 2 1】

前記癌が、膵臓腺癌又は大腸腺癌である、請求項 2 0 に記載の医薬。

【請求項 2 2】

前記ポリペプチドが癌細胞の増殖又は転移を阻害するか、又は低減する、請求項 1 7 に記載の医薬。

【請求項 2 3】

前記ポリペプチドが、哺乳動物の原発性肺腫瘍部位とは異なる部位ないしは哺乳動物の二次的部位での肺癌細胞の転移を阻害するか、又は低減する、請求項 2 0 に記載の医薬。

【請求項 2 4】

化学療法、放射線、プロドラッグ、細胞傷害剤、増殖阻害剤、又はサイトカインも前記哺乳動物に投与される、請求項 1 7 に記載の医薬。